

移動通信分野における 接続料等と利用者料金との関係の検証に関するヒアリング

KDDI株式会社

2023/12/19



- 前回の本研究会（第78回）でMVNOから検証要望を受けた弊社料金プランは以下のとおりと認識

	MVNO委員会様	IJ様	オプテージ様
要望対象	<p>【povo2.0】 3GBプラン（30日間）※ 20GBプラン（30日間）</p> <p>【UQモバイル】 ミニミニプラン 4GB コミコミプラン 20GB</p>	<p>【povo2.0】 3GBプラン（30日間）※ 20GBプラン（30日間）</p> <p>【UQモバイル】 ミニミニプラン 4GB コミコミプラン 20GB</p>	<p>【UQモバイル】 ミニミニプラン 4GB コミコミプラン 20GB</p>
補足	資料78-3スライド7に記載のプランが検証要望の対象と理解		特に3GB~6GBの優先的な検証を要望

※前回検証済みプラン



➤ 報告書の記載やガイドラインの選考基準に照らし合わせて、検証対象を適切に選定すべき

1. 接続料の算定等に関する研究会 第七次報告書 (抜粋)

＜次回以降の検証の進め方＞

今回検証対象となっただれのサービス等についても、(中略) 価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではないと認められたことから、今回の検証対象となったサービス等については、利用者料金の低廉化や接続料等の上昇等、今回の検証からの状況変化がみられない限りにおいては、再度の検証を行わないことが適当である。

2. 移动通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針 (モバイルスタックテストガイドライン) (抜粋)

基準①：料金が近接していること

MNOのサービス等のうち、MVNOのサービス等の月額相当額を下回る、又は近接しているもの

基準②：具体的な課題に基づく要望があること

- ①のうち、具体的な課題に基づいて検証対象とすべき旨の要望が寄せられたもの
 - 競争事業者から指定事業者へ継続的に利用者が移行していることが定量的に明らかである場合
 - 同等の価格で競合サービス等を提供することが困難であることが立証できる場合など

基準③：検証の合理性が認められること

②のうち、本件検証を行う合理性が有識者会合において認められたもの



1. 前回検証済みプランの再検証要否



- 要望対象料金プランのうち、「povo2.0(3GBプラン)」については、前回検証において価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではないと認められており、前回検証時からの状況変化について、
- 利用者料金の変更は行っていないこと
 - 接続料の上昇もないこと（特にデータ接続料水準は大きく低廉化）
- から、報告書記載のとおり、再度の検証を行う必要はないと考える

	前回検証時（2022年度）	今回検証時（2023年度）
料金プラン	povo2.0	
提供GB数	3GB	3GB
利用者料金[円]	900	900
データ接続料[円/10Mbps]	211,825	131,067
音声接続料[円/秒]	0.051928	0.045747



2. ガイドラインの選考基準に照らした検証要否

基準①：料金の近接（近接性の確認方法）

- 現行のガイドライン（※次頁参照）の考え方を踏まえ、料金の近接性における弊社の考えは以下のとおり
 - MNOだけではなく、**MVNOの料金プランについても、セット割引を考慮した料金にて比較することが適当**
 - FTTHサービスとのセット割引を考慮した料金比較を行う場合、検証時の条件と揃えるため、「**セット割の割引額の総額を独立販売価格及びセット割に紐づく両者の回線数を基に検証対象サービス・FTTHアクセスサービスにて按分**」することが必要
- ただし、**セット割の割引額の正確な按分は、他事業者における実際の独立販売価格・回線数・セット率等は把握できず、当該提供事業者でしか算出できないことから、可能な範囲で検証時の条件を考慮する方法**として、以下の算出方法を提案

①第七次報告書とあわせて、料金は検証要望対象プランと同GBに換算して比較

②FTTHアクセスサービスの料金水準は、戸建てとマンションコース(ネット+電話)の平均額を採用

③セット割引額の按分は、モバイル契約：FTTH契約を1:1で算出(セット率は100%とみなす)

	UQミニミニ	mineo	IIJmio
データ容量	4GB	4GB換算	4GB換算
価格(割引)	2,150円	1,330円※1	858円※1
セット割引額(提供価格)	1,000円	300円	600円
FTTHアクセスサービスの水準(試算額)	5,075円※2	4,381円※3	4,960円※4
セット割引額(試算額)	298円	70円	88円
価格(割引後)	1,852円	1,260円	769円

※1 4GBへの換算料金により弊社試算

※2 auひかりの「ホーム1GBプラン5,600円/月」、「マンションギガ4,550円/月」の平均額(5,075円/月)を利用

※3 eo光ネットの「1ギガ戸建て5,238円」、「マンションVDSL方式3,524円」の平均額(4,381円)を利用

※4 IIJmioひかりの「ファミリータイプ5,460円」、「マンションタイプ4,460円」の平均額(4,960円)を利用

※5 全て税抜表記、以下同じ



【移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針（モバイルスタックテストガイドライン）抜粋①】

- 指定事業者が現に提供しているサービス等について、FTTHアクセスサービス（当該指定事業者以外の電気通信事業者が提供するものを含む。）とのセット割引が存在する場合には、当該セット割引を適用した料金の月額相当額が競合サービス等の料金の月額相当額を下回る、又は近接していることを含む。
- この場合において、**競合サービス等にもFTTHアクセスサービス（当該競合サービス等を提供する競争事業者以外の電気通信事業者が提供するものを含む。）とのセット割引が存在する場合には、当該競合サービス等のセット割引を考慮した料金の月額相当額と比較すること。**

【移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針（モバイルスタックテストガイドライン）抜粋②】

- 検証対象サービス等を提供する指定事業者が提供するFTTHアクセスサービスとのセット割引においては、当該**セット割引の割引額の総額を独立販売価格及び当該セット割引に紐づく両者の回線数を基に当該検証対象サービス等及び当該FTTHアクセスサービスに按分するなど合理的な方法により算出**するものとする。なお、具体的な計算式の例は次のとおりとする。

検証対象サービス等 α とFTTHアクセスサービス β のセット割引の割引額の総額： D

α の独立販売価格： P_{α}

β の独立販売価格： P_{β}

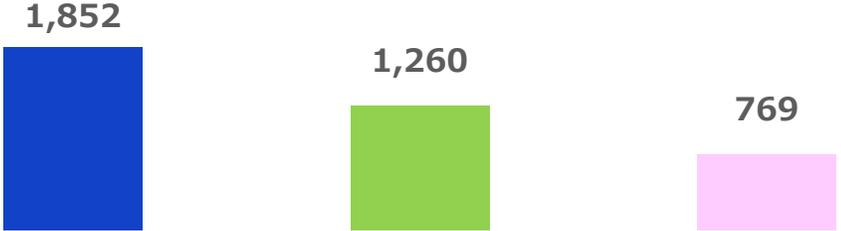
当該セット割引に紐づく α の回線数： N_{α}

当該セット割引に紐づく β の回線数： N_{β}

$$D \times \frac{P_{\alpha}}{P_{\alpha} \times N_{\alpha} + P_{\beta} \times N_{\beta}}$$

基準①：料金の近接（低容量帯）

- セット割の割引額について、前述の方法で可能な範囲で考慮して、低容量帯の料金プランの近接性を確認した結果は以下のとおり
- UQミニミニプランとMVNOの料金プランについては、前回の近接性判断における本研究会の考え方を踏まえると、**一定程度乖離（47%～141%）**しているため、**基準①を満たしていないとみなすことが適当**



	UQミニミニ	mineo	IIJmio
データ容量	4GB	4GB換算	4GB換算
価格（割引前）	2,150円	1,330円	858円
セット割引額（試算額）	298円	70円	88円
価格（割引後）	1,852円	1,260円	769円
価格比	-	147%	241%

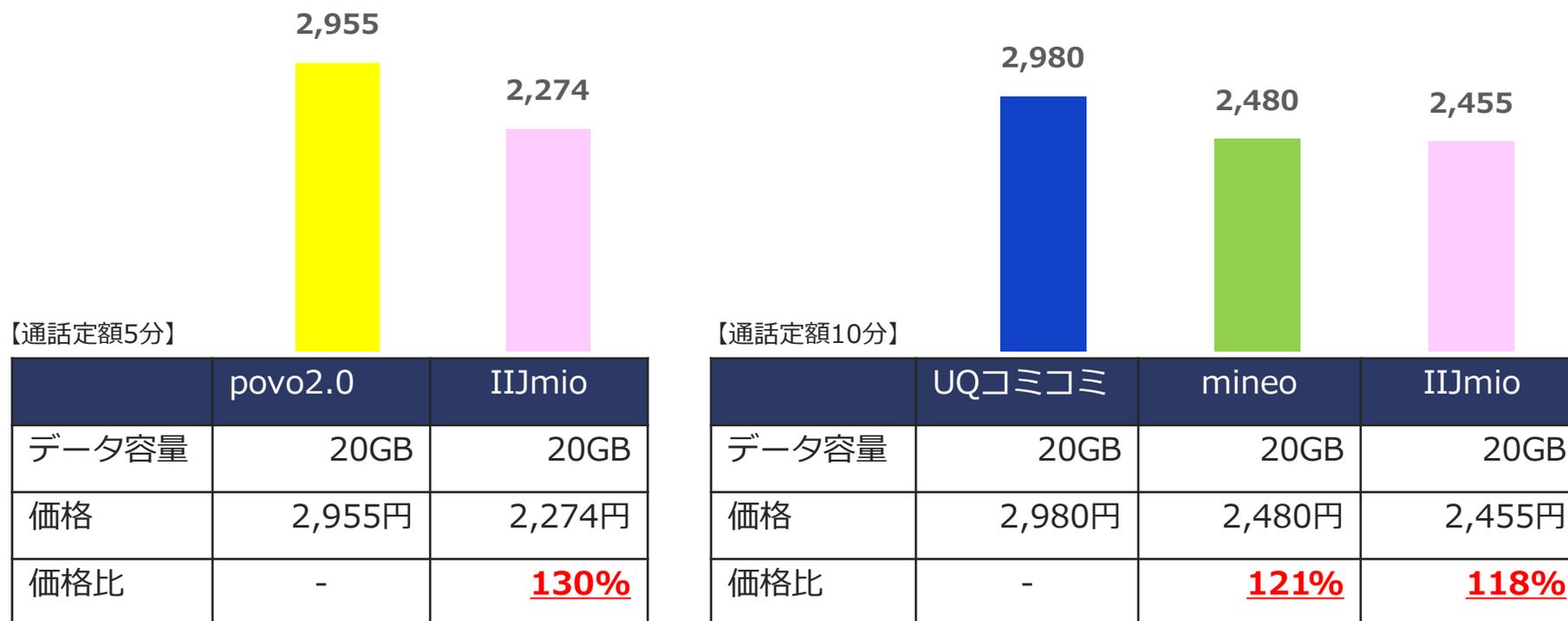
（参考）前回の近接性判断における本研究会の考え方

povo2.0 及び LINEMO において提供される低容量帯プランについては、MVNOの提供するプランと料金の近接度合いが高（5%～24%）、特に mineo の同容量帯プランとの料金の乖離が 10%未満であることを踏まえれば、基準①を満たすとみなすことが適当である。

一方、UQ mobile 及び Y!mobile において提供される低容量帯プランについては、MVNOの料金と**一定程度乖離（64%～137%）**しており、**基準①を満たしていないとみなすことが適当**である。

基準①：料金の近接（中容量帯）

- 同様に、中容量帯の料金プランの近接性を確認した結果は以下のとおり
- povo2.0(20GBプラン)・UQコミコミプランとMVNOの料金プランについては、料金の乖離が10%以上であるものの、**一定程度近接（18%~30%）**しているため、**基準①を満たしてはいないとまでは言えない**と考えられる
- そのため、**基準②・基準③を踏まえた総合的な判断が必要**



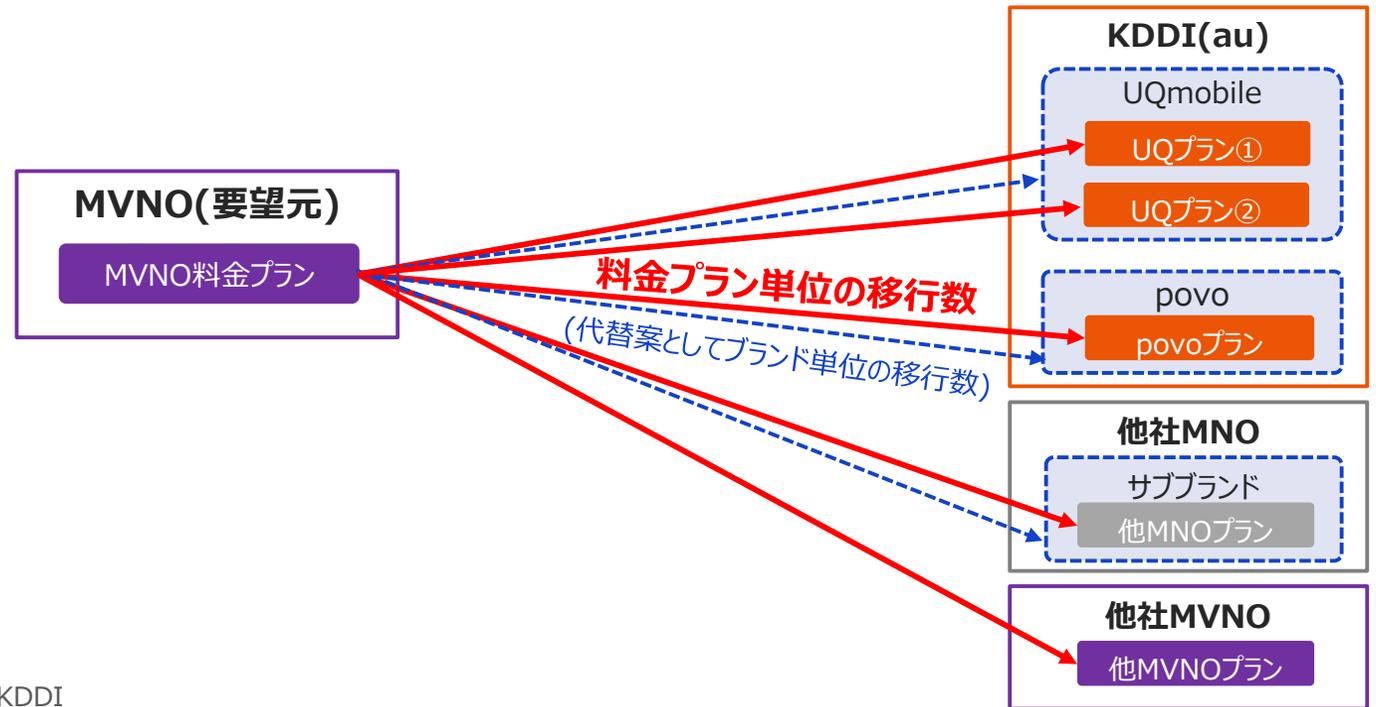
（参考）前回の近接性判断における本研究会の考え方

povo2.0 及び LINEMO が提供する中容量帯プラン（20GB）については、MVNOの提供するプランとの料金の乖離が10%以上ではあるものの、**一定程度近接（19%~31%）**しているため、**基準①を満たさないとは言えない**と考えられる。

※第七次報告書と合わせて、中容量帯については、通話定額オプションの料金を含めた金額にて比較
弊社povo2.0、UQコミコミプランはFTTHサービスとのセット割の適用対象外サービス

基準②-1：継続的移行の有無

- MVNOにおける、前回の研究会（第78回）での提示内容は非公開であるため、『継続的移行の有無』は、MNOには判断できない状況。そのため、総務省様及び本研究会構成員にて確認・検証が必要。
- MNPシステムにおける移行先情報の抽出が困難である点はMNOも同様であるため、アンケートによる情報抽出が現実的な対応となり得ると考える。なお、第七次報告書にて「より説得力のあるデータを示すことができるよう、転出する利用者へのアンケート方法等について見直すことも考えられる」とされていたところ、MVNOの提示内容が前回の検証時と比較して「より説得力のあるデータ」となっているのか等についても確認が必要



各料金プランへの継続的移行が定量的に明らかかどうか確認・検証が必要

(※前年度弊社プレゼン資料の一部再掲)

基準②-2 同等価格での提供可否

- 前回の研究会（第78回）でMVNOより提示された内容については、『**同等の価格で競合サービス等を提供することが困難であることが立証できる場合**』に該当するほどの情報は提示されていない認識。
- 例えば、以下MVNOのプランにおいては、MNOの各プランと**同等価格以下にて現時点で既に提供済みであるため、提供困難ではないと考えられる状況。**

● 中容量プラン（光セット割なし）

	IIJmio	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク
プラン名	ギガプラン 20ギガ	ahamo	povo 2.0 20GB (30日間)	LINEMO スマホプラン
月額料金	1,819円	2,700円	2,455円	2,480円
通信容量	20GB	20GB	20GB	20GB
国内通話定額 (5分定額)	455円	0円 (基本料金に含む)	500円	500円
月額料金合計	2,274円	2,700円	2,955円	2,980円

※昨年度実施済み

	IIJmio	KDDI
プラン名	ギガプラン 20ギガ	UQモバイル コミコミプラン
月額料金	1,819円	2,980円
通信容量	20GB	20GB
国内通話定額 (10分定額)	637円	0円 (基本料金に含む)
月額料金合計	2,456円	2,980円

(出典：接続料の算定等に関する研究会（第78回）
資料78-4 インターネットイニシアティブ様資料引用)

同等の価格以下にて現時点ですでに提供済み

(※前年度弊社プレゼン資料の一部再掲)



基準③ 検証の合理性

➤ 基準①、基準②-1又は基準②-2を満たしている検証対象のサービス・料金プランについては、**検証を行う合理性について、本研究会において総合的にご判断**いただいた上で、検証対象を選定いただきたい。

検証要望を受けた 弊社プラン		再検証 要否	ガイドラインの選考基準に照らした検証要否			弊社の考え（まとめ）
			基準①	基準②	基準③	
povo2.0	3GBプラン (30日間)	不要	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 再検証するための状況変化がないことから、第七次報告書記載のとおり、再検証は不要
	20GBプラン (30日間)	-	一定程度 近接	具体的な 課題について 確認が必要	検証を行う 合理性について 総合的な判断 が必要	<ul style="list-style-type: none"> 一定程度近接し、基準①を満たしていないとまでは言えない 基準②・基準③を踏まえた総合的な判断が必要
UQモバイル	ミニミニプラン 4GB	-	一定程度 乖離	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 一定程度乖離し、基準①を満たしていないことから検証対象とならない
	コミコプラン 20GB	-	一定程度 近接	具体的な 課題について 確認が必要	検証を行う 合理性について 総合的な判断 が必要	<ul style="list-style-type: none"> 一定程度近接し、基準①を満たしていないとまでは言えない 基準②・基準③を踏まえた総合的な判断が必要



(参考)

第78回会合におけるMVNO意見に対する弊社の考え

論点

- IJ様から提案された検証方法（モバイルの2回線目以降は按分しない方法）について

弊社の考え

- 現行のガイドラインに規定されている割引額の算出方法（※P7抜粋②参照）については、会計処理上の基本的な考え方を踏まえて検討されたもの（※次頁参照）であり、**合理的な方法として規定されたもの**。
- そのため、弊社としては、仮にFTTHアクセスサービスとのセット割が適用されるサービスが検証対象となった場合には、**現行のガイドラインの算出方法のとおり、検証実施に臨む考え**。

【接続料の算定等に関する研究会 第74回総務省資料74-2 抜粋】

(2) 競争ルールの検証に関するWGにおける議論

◆ 競争ルールの検証に関するWGにおいては、MNO 3社が行うFTTHアクセスサービスとモバイル契約とのセット割引が、FTTHアクセスサービス市場の競争環境を不当に歪めることにならないかという観点で、特にNTTドコモ及びソフトバンクのセット割の取扱いについて検証を行った結果、以下の点が明らかになった。

➢ 各社においては、独立販売価格をもとにセット割引の値引き額を（固定/移動通信間で）按分しており、会計処理上の基本的な考え方は共通している。

(参考) 収益認識に関する会計基準（企業会計基準第29号）

(値引きの配分)

70. 契約における約束した財又はサービスの独立販売価格の合計額が当該契約の取引価格を超える場合には、契約における財又はサービスの束について顧客に値引きを行っているものとして、当該値引きについて、契約におけるすべての履行義務に対して比例的に配分する。

➢ 各社の会計処理の結果得られた按分比を用いてセット割引の値引き額を固定/移動通信間で按分するとFTTHアクセスサービス：モバイルサービス＝1：2～3との比率が得られる。

◆ こうした検証結果を踏まえ、競争ルールの検証に関するWGにおいても、「モバイルスタックテスト（移動通信分野における接続料等と利用者料金との関係の検証）においては、固定通信サービスとのセット割引を検証における原価に算入しない扱いとしているが、本WGにおける不当競争の検証上の按分の考え方を踏まえて、セット割引を考慮して検証を行うこととすべきではないか」との方針整理案が事務局より提示されている。

論点

- FTTHサービスとのセット割以外の割引について

弊社の考え

- 今回の検証実施において、FTTHサービスとのセット割以外の割引オプション(「**家族セット割**」等)が適用されるサービスが仮に検証対象となった場合、**現行のガイドラインの規定を踏まえ、当該割引額を利用者料金へ考慮して、検証実施に臨む考え。**
- なお、UQミニミニ・トクトクプランについては、「**自宅セット割**」・「**家族セット割**」の重複適用はできないサービス(※自宅セット割が優先適用)であり、UQコミコミプランについては、「**家族セット割**」の適用外(※)であるサービスであるため、料金近接性を検討するうえで「**家族セット割**」の影響は限定的なもの。(※家族人数のカウント対象には含まれる)
- また、「**au PAYカード支払い割**」については、支払方法がau PAYカードであることを条件に適用される割引サービスであるため、「**非通信サービス等とのセット割**」に該当すると考えることから、当該割引額は利用者料金への考慮が不要である考え。

【移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針(モバイルスタックテストガイドライン) 抜粋③】

利用者料金に関する割引については、次のとおり、**1人当たり割引相当額を算出し、利用者料金の額から控除**することとする。
(ただし、社会福祉を目的とする割引であって、**公的機関が発行する証明書の確認を要件とするもの並びにFTTHアクセスサービス以外の通信サービス及び非通信サービス等とのセット割引を除く。)**

- 指定事業者が提供する全てのサービス等に適用される割引にあつては、全ての利用者に占める現に割引を受ける者の割合に割引額を乗じた金額
- 検証対象サービス等を含む一部のサービス等にのみ適用される割引にあつては、当該一部のサービス等の利用者に占める現に割引を受ける者の割合に割引額を乗じた金額

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

KDDI VISION 2030

